

II 油糧種子

1 2009/10年度の国際的な油糧種子需給の概要

○2009/10年度の油糧種子需給（予測）のポイント

2009/10年度の油糧種子需給は、大豆の単収が回復する見込みから、油糧種子全体の生産量は増加すると見込まれており、搾油用需要を中心として消費量も増加が見込まれている。

また、期末在庫量は、生産量が消費量を上回ることから、油糧種子全体の需給は緩和されるものと見込まれる。

【生産量】

世界の油糧種子全体の生産量は、大豆の増加から前年度より28.4百万トン増加（7.2%）し、422.8百万トンとなる見込みである。

品目別には、なたねについては、カナダ、ウクライナで収穫面積が減少することから生産量の減少が見込まれるものの、大豆については、米国やアルゼンチン等で、昨年低下した単収が回復する見込みから生産量は増加すると見込まれている。

【消費量】

世界の油糧種子全体の消費量は、堅調な搾油需要の拡大などから、前年度より10.6百万トン増加（2.6%）し、411.6百万トンとなる見込みである。

品目別には、大豆については、アルゼンチン、中国で搾油用需要を中心とした増加が見込まれ、なたねについても、カナダ、中国、EU等で搾油用需要を中心とした増加が見込まれることから消費量は増加すると見込まれている。

【貿易量】

世界の油糧種子の貿易量は、1.6百万トン減少（▲1.7%）し、91.8百万トンとなる見込みである。

品目別には、大豆については、アルゼンチン、パラグアイが生産量の回復から輸出量の増加が見込まれている。一方、なたねについては、カナダ、ウクライナ等で減少することから、輸出量の減少が見込まれている。

【期末在庫量】

世界の油糧種子全体の期末在庫量は、8.4百万トン増加（15.8%）し、61.5百万トンとなる見込みである。また、油糧種子全体の期末在庫率は、期末在庫が積み増しされることから、14.9%と1.7ポイント増加する見込みである。

品目別には、なたねについては、生産量が消費量を下回り、期末在庫が取り崩されるものの、大豆については生産量が消費量を上回り、期末在庫を積み増すと見られている。

表－1 世界の油糧種子需給

(単位:百万トン)

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10			
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生産量	油糧種子計	391.6	394.4	422.8	0.2	7.2
	うち、大豆	221.1	210.7	243.9	1.9	15.8
	なたね	48.3	58.0	56.6	0.1	▲2.5
	綿実	45.9	40.9	40.6	▲0.2	▲0.6
	ピーナッツ	32.4	34.4	31.9	▲1.5	▲7.4
	ひまわり種	27.0	32.6	31.9	0.0	▲2.1
消費量	油糧種子計	400.2	401.0	411.6	▲1.5	2.6
	うち、大豆	229.8	221.4	231.6	0.3	4.6
	なたね	48.9	55.0	57.6	0.1	4.6
	綿実	46.0	41.3	40.6	▲0.4	▲1.8
	ピーナッツ	32.3	33.7	31.9	▲1.6	▲5.2
	ひまわり種	26.6	32.1	31.9	0.3	▲0.5
うち、 搾油用	油糧種子計	338.3	338.3	347.7	▲1.1	2.8
	うち、大豆	201.9	193.0	201.0	0.3	4.1
	なたね	46.5	52.2	54.7	0.2	4.9
	綿実	34.4	32.0	31.5	▲0.3	▲1.5
	ピーナッツ	15.2	15.5	14.3	▲1.3	▲7.7
	ひまわり種	23.7	28.4	28.4	0.1	0.1
貿易量	油糧種子計	92.6	93.4	91.8	0.7	▲1.7
	うち、大豆	79.5	76.3	77.0	1.1	0.9
	なたね	8.2	12.1	9.8	▲0.3	▲19.2
	綿実	0.8	0.5	0.7	0.0	32.7
	ピーナッツ	2.4	2.3	2.3	▲0.1	▲0.4
	ひまわり種	1.4	1.9	1.8	▲0.0	▲7.9
期末在庫量	油糧種子計	62.3	53.1	61.5	0.2	15.8
	うち、大豆	52.9	40.2	50.5	0.2	25.6
	なたね	3.4	6.3	4.9	▲0.1	▲21.3
	綿実	1.2	0.8	0.8	0.1	3.9
	ピーナッツ	1.1	1.5	1.2	0.1	▲22.4
	ひまわり種	3.4	3.8	3.6	▲0.1	▲4.5
期末在庫率	油糧種子計	15.6%	13.3%	14.9%	0.1	1.7
	うち、大豆	23.0%	18.2%	21.8%	0.1	3.7
	なたね	7.1%	11.4%	8.6%	▲0.1	▲2.8
	綿実	2.7%	1.9%	2.0%	0.1	0.1
	ピーナッツ	3.3%	4.5%	3.7%	0.4	▲0.8
	ひまわり種	12.7%	11.8%	11.3%	▲0.3	▲0.5

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、 「PS & D」

注：期末在庫率の「前月予測からの変更」と「対前年度増減率」は、前月予測及び前年度とのポイント差である。

【参考】2009/10年度の油糧種子需給予測の主な改訂（主要品目の前月予測と今月予測の差）

前月の予測からの改訂は、生産量は大豆がブラジル、米国等で上方修正され、なたねがEUの単収の上昇等で上方修正され、油糧種子全体で0.2百万トン上方修正されている。また、消費量については大豆、なたねともに上方修正されたものの、油糧種子全体で1.5百万トン下方修正されている。期末在庫量は大豆が上方修正、なたねが下方修正され、油糧種子全体では0.2百万トン上方修正された。

○ 大豆

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 搾油用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	1.9	0.3	0.3	1.1	...	0.2
米国	1.3	0.6	0.5	0.4	-	0.3
ブラジル	2.0	-	-	0.4	-	-
カナダ	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.1	0.0	0.0	▲ 0.0
中国	▲ 0.4	0.2	0.1	-	0.4	0.5
アルゼンチン	-	0.4	0.4	-	-	▲ 0.4

○ なたね

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 搾油用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	0.1	0.1	0.2	▲ 0.3	...	▲ 0.1
カナダ	▲ 0.5	▲ 0.1	-	▲ 0.6	0.1	-
オーストラリア	-	-	-	-	...	-
EU-27	0.5	0.2	0.2	0.3	▲ 0.3	0.0
中国	-	-	-	-	▲ 0.2	-
インド	-	-	-	-	-	-

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、「Oilseeds: World Markets and Trade」、「PS&D」

注：期末在庫量の変更については、2008/09年度の需給データの改訂により、2009/10年度の期首在庫量が修正されたことに伴う場合もある。